# 酸ヶ湯温泉国民保養温泉地計画書

令和7年3月

環 境 省

1	•	温泉地の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2		計画の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3
3		自然景観、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策・・・	3
4		医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成で、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
5		温泉資源の保護に関する取組方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	5
6		温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
7		温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策・・・・・・・・	7
8		高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画・・・・・・・・・	9
9		災害防止対策に係る計画及び措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
添 1		国民保養温泉地位置図	

2 . 国民保養温泉地区域図

#### 1.温泉地の概要

酸ヶ湯温泉は青森市中心部から南へ約30キロメートル、十和田八幡平国立公園の北部、八甲田連峰の主峰大岳の西麓に位置し、標高約900メートルの清涼な高地にある。

酸ヶ湯の自然環境は四季の変化に富み、ブナ帯、アオモリトドマツ帯の境界付近にあるため、高山植物の種類も多く、美しい自然は学術上からも高く評価され、すぐそばには東北大学附属植物園八甲田山分園もあり、また屋根裏に営巣し天空を群飛するイワツバメは酸ヶ湯の風物詩となっている。

酸ヶ湯はその恵まれた立地から八甲田観光の基地として利用され、八甲田大岳・井戸岳・赤倉岳などの北八甲田や、その山腹に発達する毛無岱・田茂萢(たもやち)などの湿原への登山口にもなっている。

春は美しい花が咲き、秋は色鮮やかな紅葉が北八甲田はもちろん田代平湿原やグダリ 沼のある東八甲田エリアでも楽しめる。

日本有数の豪雪地帯である冬の八甲田は、自然の造形である樹氷群を縫って滑る山岳スキーの醍醐味や、初春には5メートルを超える豪快な雪の壁を見ることが出来るなど、八甲田の山々は四季を通じて人々を魅了し、年間を通じて多くの観光客が訪れている。



酸ヶ湯概観(秋)



酸ヶ湯概観(冬)



酸ヶ湯温泉 千人風呂



酸ヶ湯温泉 千人風呂

酸ヶ湯温泉は300年の昔から開かれていた山の温泉宿であり、その泉質は酸性・含硫黄-ナトリウム-硫酸塩泉(硫化水素型)で、神経痛、筋肉痛、慢性消化器病などの効能がある。

総ヒバ造りの千人風呂は、広さ約80坪の浴室に「熱の湯」、「四分六分の湯」、「鹿の湯」、「冷の湯」と4種類の浴槽に分かれており、柱の1本もない大空間で、老若男女に昔ながらのスタイルで湯あみされている。

また、酸ヶ湯温泉から歩いて5分のところに位置するキャンプ場は、ブナ林に囲まれた 八甲田・大岳を望む敷地内にあり、青森ヒバで建てられた管理棟や、ベンチ・釜場を備え た炊事棟及び、テントサイトなどの施設が整備されている。平成19年のリニューアルオ ープン後は、野外活動を楽しむ場として、登山などのレジャーを目的に八甲田を訪れる多 くの方に利用されている。



酸ヶ湯温泉 キャンプ場



八甲田 登山道

平成3年5月、国内最大級の洋風木造建築となる酸ヶ湯温泉「八甲田ホテル」が開業 し、平成20年6月にはG8エネルギー大臣会合が開催されている。

#### 2.計画の基本方針

- (1)泉源を保護し、温泉の量及び質の確保の推進に努め、効果的に活用する。
- (2) 自然景観の保護を図りつつそれに調和した施設を整備するものとする。
- (3)従来の農業従事者を主とする自炊湯治の温泉としての特性を一層助長すると共に、 優れた自然環境の中で健全な温泉利用を促進するため、青少年の利用者のための宿 泊施設を含めた大衆向け湯治施設、運動場、野営場、園地の計画に重点を置く。
- (4)冬季積雪期間の利用(湯治客、スキー客)に備えて交通運輸の拡充に努める。
- 3. 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策
  - (1) 自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

酸ヶ湯は十和田八幡平国立公園内、八甲田の主峰大岳の西麓に位置し標高約 900 メートルの清涼な高地にある。

風光は四季の変化に富み、ブナ帯、アオモリトドマツ帯の境界付近にあるため、 高山植物の種類も多く、美しい自然は学術上からも高く評価され、すぐそばには東 北大学附属植物園八甲田山分園もある。また屋根裏に営巣し天空を群飛するイワツ バメは酸ヶ湯の風物詩となっている。

#### (2)取組の現状

酸ヶ湯温泉の周辺は自然公園法に基づく第二種特別地域に指定されており、「十和田八幡平国立公園十和田八甲田地域管理計画書」において管理の基本方針、風致景観の管理に関する事項、地域の開発・整備に関する事項、土地及び事業施設の管理に関する事項、利用者の指導に関する事項、地域の美化修景に関する事項が示され、自然公園の風致を維持している。

### (3)今後の取組方策

酸ヶ湯温泉において、さらに自然環境、まちなみ、歴史、文化、風土等の維持・保全を図るため、関係機関等と調整し現状の取組を継続するとともに、青森市や八甲田地区の事業者で構成している八甲田振興協議会と連携し、八甲田地区の優れた景観の保護とその利用増進を図り、八甲田地区の健全な発展に寄与していく。

4. 医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

# (1)医師又は人材の配置の状況

酸ヶ湯温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う 医師及び同医師との連携のもと入浴方法等の指導を行う人材を配置しており、その 氏名及び活動の状況等は以下のとおりである。

### 医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
浪打病院	内科	適正な温泉利用や健康管理に関する指	H27 ~
理事長	外科	導を行っている	
菊田一貫			

### 人材

酸ヶ湯温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導を行う 温泉利用指導者・温泉入浴指導員を配置している。

資 格	人 数	活動内容	配置年度
畑田素子	3人	温泉療養相談室において、週5回、温泉療	H26 ~
(温泉利用		養相談を実施するとともに、「丑湯(うし	
指導者)		ゆ )祭り」など各種イベントにおいては青	
塩崎静子		森市保健所と協調し、健康増進及び疾病予	
(温泉利用		防のための講座等を実施しているほか、温	
指導者)		泉療養相談会を実施し、温泉利用を安全か	
高田新太郎		つ適切に実施できるよう指導している。	
(温泉入浴			
指導員)			

### (2)配置計画又は育成方針等

酸ヶ湯温泉では、(1)の医師及び人材の配置を継続する。



丑湯 健康講座



丑湯 健康体操

# 5. 温泉資源の保護に関する取組方針

# (1)温泉資源の状況

酸ヶ湯温泉の源泉数は現在 7 箇所あり、その他付近一帯が温泉源として利用できる。

源泉	温度	湧出量	泉質	湧出状況	所有者	利用施設
	( )	(1/min)				
熱の湯	48.1	110	酸性硫黄泉	自然湧出	酸ヶ湯温泉	旅館 1 施
			硫化水素型		(株)	設
冷の湯	64.8	94	酸性硫黄泉	自然湧出	酸ヶ湯温泉	旅館 1 施
(大)			硫化水素型		(株)	嗀
冷の湯	69.7	25	酸性硫黄泉	自然湧出	酸ヶ湯温泉	旅館 1 施
(小)			硫化水素型		(株)	設
鹿の湯	67.6	23.7	酸性硫酸塩・	自然湧出	酸ヶ湯温泉	旅館 1 施
			塩化物泉		(株)	設
四分六分	56.7	97	酸性硫黄泉	自然湧出	酸ヶ湯温泉	旅館 1 施
の湯			硫化水素型		(株)	設
荒川温泉	76.1	38	酸性塩化物・	自然湧出	酸ヶ湯温泉	ホテル 1
			硫酸塩泉		(株)	施設
ふかし湯	88.0	48	-	掘削動力	酸ヶ湯温泉	旅館 1 施
				揚湯	(株)	設 ( 非浴
						用)

# (2)取組の現状

温泉保護の取組について

源泉	取組	実施主体	実施年度
熱の湯	温度は毎日、水位又	酸ヶ湯温泉	S29 ~
冷の湯(大)	は湧出量は毎月観		
冷の湯(小)	測。成分分析につい		
鹿の湯	ては適宜実施。		
四分六分の湯	計測結果の蓄積及び		H30 ~
ふかし湯	データ化に取り組み		
	異常の早期発見に努		
	める		
荒川温泉	温度は毎日、水位は	八甲田ホテル	H3 ~
	毎月測定。成分分析		

については適宜実	
施。	
計測結果の蓄積及び	H30 ~
データ化に取り組み	
異常の早期発見に努	
める	

# (3)今後の取組方策

今後の取組 (新選定基準)

源泉	取組	実施主体	実施年度
熱の湯	引き続き計測結果の蓄	酸ヶ湯温泉	R6 年 ~
冷の湯(大)	積及びデータ化を行い		
冷の湯(小)	異常の早期発見に努め		
鹿の湯	る		
四分六分の湯			
ふかし湯			
荒川温泉	引き続き計測結果の蓄	八甲田ホテル	R6 年 ~
	積及びデータ化を行い		
	異常の早期発見に努め		
	る		

# 6.温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

# (1)温泉の利用に当たっての関係設備等の状況

温泉名	源泉数		浴用利用施設までの設備					
酸ヶ湯温泉	7	引湯管	貯湯槽	分湯槽	中継槽	配湯管		2

# (2)取組の現状

設備	区分	取組	実施主体
源泉	自主的	必要に応じ、水質、成分検査を実施。年2回のメンテナ	酸ヶ湯温泉
		ンス。雨水の侵入防止のため屋根掛けと遮水対策。	
貯湯槽	自主的	清掃などのメンテナンスを年 2 回実施。	酸ヶ湯温泉
分湯槽	自主的	清掃などのメンテナンスを年2回実施。	酸ヶ湯温泉
中継槽	自主的	清掃などのメンテナンスを年2回実施。	酸ヶ湯温泉
引湯管	自主的	パイプ内の清掃を年2回実施。	酸ヶ湯温泉

配湯管	自主的	パイプ内の清掃を年2回実施。	酸ヶ湯温泉
浴室等	自主的	毎日 2 回以上の硫化水素濃度の測定を実施。換気を徹	酸ヶ湯温泉
		底。	
浴槽	自主的	浴槽水の排水後に清掃を実施。年4回レジオネラ菌の検	酸ヶ湯温泉
		査を実施。	
		<浴槽水>	
		・すべての浴槽について、換水を毎日(循環式浴槽に	
		ついては1週間に1回)行い、排水後に清掃を実施。	
		・年 4 回レジオネラ菌の検査を実施。	
		<ろ過器及び循環配管>	
		すべての循環式浴槽について、1週間に1回以上、逆	
		洗浄等により汚れを除去し、循環配管の消毒を実施。	
		<集毛器>	
		すべての循環式浴槽について、毎日清掃を実施。	

# (3)今後の取組方策

酸ヶ湯温泉において、さらに温泉を衛生的に良好に保つため、各施設の修繕、補修 や更新を行いながら取組を継続するとともに、温泉の送引中に起こる熱損失を抑え るべく、パイプの保温対策等を進めていく。

また、硫化水素対策については、今後も毎日2回以上の測定を続け、環境省が定める基準値を超える場合は入浴の自主規制を行うなど適切に対応していく。

### 7. 温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

### (1)温泉の公共的利用の状況

過去3年間の温泉利用者数

(単位:人)

温泉地 区分		令和3年度	令和4年度	令和5年度
酸ヶ湯温泉	宿泊	34,100	48,200	51,000
	日帰	40,300	61,500	69,000
八甲田	宿泊	8,300	13,200	15,400
ホテル				
小計	宿泊	42,400	61,400	66,400
	日帰	40,300	61,500	69,000
合計		82,700	122,900	135,400

直近1年間(令和5年度)の温泉の利用者数

(単位:人)

温泉地	区分	総定員	利用者数					
			4月	5月	6月	7月	8月	
酸ヶ湯	宿泊	500	3,900	4,100	3,800	4,300	5,000	
温泉	日帰		4,900	8,100	6,500	5,000	10,900	
八甲田	宿泊	120	1,100	1,400	1,400	1,400	2,200	
ホテル								
小計	宿泊	620	5,000	5,500	5,200	5,700	7,200	
	日帰		4,900	8,100	6,500	5,000	10,900	
合計			9,900	13,600	11,700	10,700	18,100	
			利用	者数				
9月	10 月	11 月	12月	1月	2月	3月	合計	
4,700	5,600	3,600	3,700	4,200	4,000	4,100	51,000	
7,100	9,600	3,900	2,600	2,800	3,500	4,100	69,000	
1,500	2,200	1,100	700	700	900	800	15,400	
6,200	7,800	4,700	4,400	4,900	4,900	4,900	66,400	
7,100	9,600	3,900	2,600	2,800	3,500	4,100	69,000	
13,300	17,400	8,600	7,000	7,700	8,400	9,000	135,400	

# (2)取組の現状

酸ヶ湯温泉の大浴場ヒバ千人風呂は「混浴」だが、近年マナーの低下が顕著になり、 女性客が入浴しづらいとの意見が多かったため、浴槽内に衝立を設置し、マナー向上 の啓蒙活動を行ったが効果はあまり見られなかった。令和3年から環境省主催「湯あ み着の日」を数日設定し利用者に対し調査を行ったが、男女共肯定的な意見が多かっ た。

### (3)今後の取組方策

湯あみ着の着用について今後さらなる検討を重ね、前向きに進めていきたい。また、 増えてきているインバウンド対策について、インターネット環境のさらなる整備と、 現金以外の決済方法の導入を検討していく。

そのほか、温泉水の熱を利用し、熱交換器による給湯や暖房への利用や、排湯を利用した融雪など、温泉の特性を活かした方策については、今後においても、さらに増やしていく。

### 8. 高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりに関する計画

### (1)公共の用に供する施設の状況

区分	施設		事業主体	
公有施設	道路	国道 103 号	県	
	その他	酸ヶ湯インフォメーションセンター	国	
		公衆便所	県	
		登山道	その他	
		キャンプ場		
私有施設	温泉	温泉施設	民間	
	宿泊施設	宿泊施設		

### (2)取組の現状

酸ヶ湯温泉において、高齢者、障がい者等に配慮したまちづくりとして、インフォメーションセンター及び公衆便所がバリアフリー対応となっているほか、私有施設についても温泉宿泊施設館内がバリアフリーとなっており、平成28年度リニューアルオープンした湯治棟3号館についても高齢者、障がい者へ配慮したものとなっている。

区分	施設	取組	事業主体
公有施設	その他	酸ヶ湯インフォメーションセンター	国
		公衆便所	
私有施設	温泉	温泉施設	民間
	宿泊施設	宿泊施設	

### (3)今後の取組方策

今後も高齢者、障がい者をはじめ、外国からの観光客に配慮したまちづくりを図るため、案内標識を含む公共施設のバリアリー化、園路歩道の再整備、改良について関係機関に働きかけていくとともに、酸ヶ湯温泉においても温泉及び宿泊施設について施設整備を進めていく。

区分	施設	取組	事業主体
公有施設	道路	観光案内標識の多言語化や、老朽施設	国
	案内標識 の更新及び再整備においてに		県
	その他	者、障がい者、外国からの観光客に配	市
		慮する。	
私有施設	温泉施設	温泉及び宿泊施設について、バリアフ	民間
宿泊施設 リー化を進める。		リー化を進める。	

### 9. 災害防止対策に係る計画及び措置

### (1)温泉地の地勢及び災害の発生状況

酸ヶ湯温泉は、八甲田連峰の主峰である大岳(標高 1,584.6m)をはじめとする、山々に囲まれており、急傾斜地の麓に位置しているほか、平成 28 年には活動火山対策措置法に基づく火山災害警戒地域に指定され、県、市町村及び関係機関で構成される八甲田山火山防災協議会においてハザードマップを策定しており、今後、避難計画及び噴火警戒レベルが策定される。

なお、これまで土石流や地すべりなどの災害は発生していない。

# (2)計画及び措置の現状

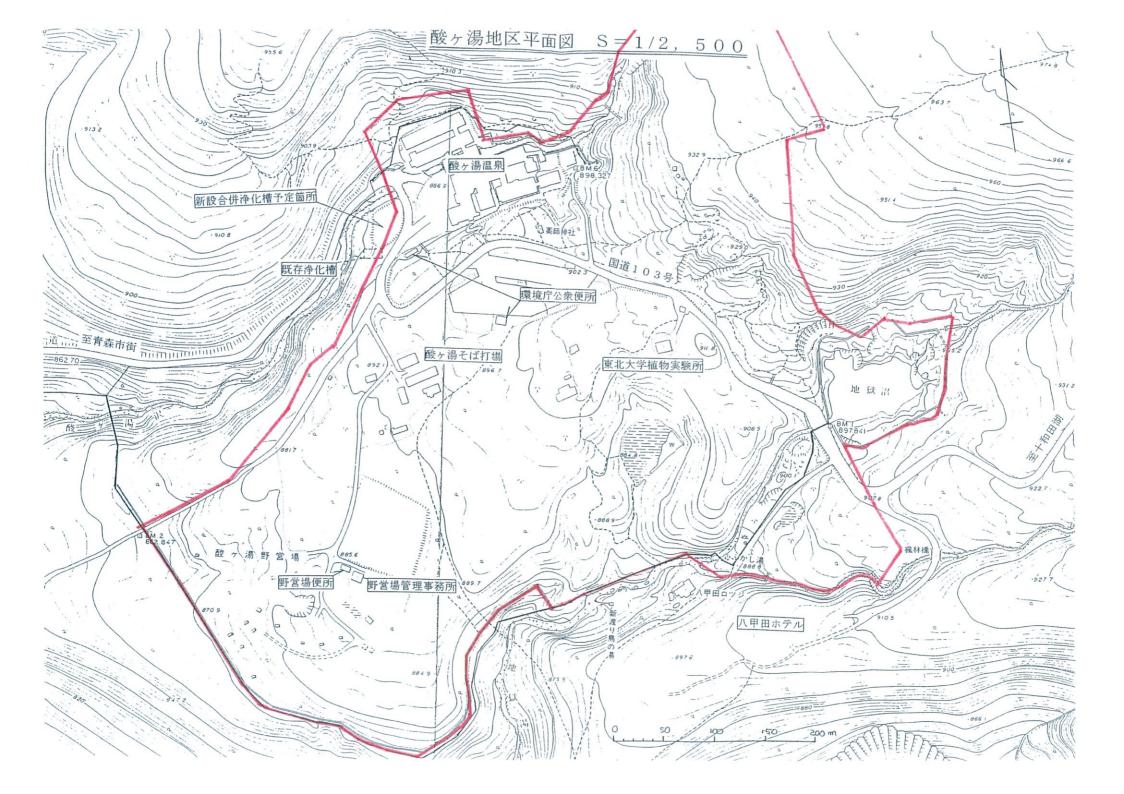
酸ヶ湯温泉がある区域は急傾斜地の崩壊のおそれがある区域となっており土砂災 害防止対策の推進に関する法律及び、活動火山対策特別措置法に基づき、以下の指定 となっている。

温泉地	計画又は措置	計画又は措置の概要
酸ヶ湯	土砂災害警戒区域の	土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対
温泉	指定	策の推進に関する法律に基づき、急傾斜地の崩
	土砂災害特別警戒区	壊や土石流のおそれがある区域に指定
	域の指定	
	火山災害警戒地域	活動火山対策特別措置法に基づく火山災害警
		戒地域に指定され、気象庁が 24 時間体制で常
		時観測・監視をしている。

### (3)今後の取組方策

酸ヶ湯温泉では、温泉がある区域が土砂災害警戒区域等に指定されていることから、雪解けや大雨の時には急傾斜地崩落の危険性について現地の状況に注意するとともに、施設利用者を災害から守るため、災害情報の伝達や避難が早くできるよう警戒避難体制の整備に努めている。

また、火山対策については火山防災協議会で策定されたハザードマップ、今後策定される避難計画及び青森市地域防災計画に基づき、災害時の宿泊客等の避難、誘導等の計画の整備・充実を図る。



酸ケ湯温泉 位置図

1:25,000 酸ヶ湯 至青森 毛無位 南股山 △905.8 避難小壓可 012400 市 青 15844 高田大岳 田 仙人岱ヒュッテー 黑森 13602% 黄 石倉岳 逆川岳 · 经比较 962 - " AI 183.4 A660.0 . 岳 198.8 AI 089.6 (上岳) 下岳 乘鞍岳 1226